

1918.8.19  
10. 8. 24

## 慘敗紀念の歌 (詞、高橋歌)

- (一) あゝ八月の陽の如く  
我等が四十有餘日  
力さ血を捧げたる  
怨そ胸に燃ゆるなる  
正義の爲めに滿身の  
戦ひ遂に敗れたり
- (二) 權は暴壓制並ひなき  
傷さ倒れ囚はれて  
陣營暗く慘として  
敵の刃に戦友は  
旗旗空しく光なし  
闘士の顔に涙あり
- (三) いかで忘れん今日の日を  
戦意ますます高まりぬ  
真理の光仰く迄  
怨は永く結ばれて  
正義の凱歌響くる迄  
我等は飽返戦はん
- (四) 正義の爲めに倒れてそ  
壓制、追害、何者ぞ  
やぶれし旗を敢然と  
男子始めて誇りあり  
最後の勝利我に在り  
捧げて進め十字軍
- (五) 友よ疊りも面上げて  
道は峻はしく暗けれと  
我が力のみ頼みつと  
我等の行手望み見よ  
遙けき丘に光あり  
陰忍自重努力せよ

筆者 法學士 赤松克己

發行編輯兼印刷人 三谷幸吉

大正十年八月十五日

(定價部 金貳錢)

## 同胞の同志諸君への謝詞

同胞の同志諸君へ、  
此の苦難の時に、  
我等は、  
同志諸君の  
御支援に  
厚く御礼を  
申し上げます。  
此の苦難の時に、  
我等は、  
同志諸君の  
御支援に  
厚く御礼を  
申し上げます。  
此の苦難の時に、  
我等は、  
同志諸君の  
御支援に  
厚く御礼を  
申し上げます。